

花と緑の銀行だより

226号 2023.1



小矢部市 北蟹谷花と緑の友の会花壇

目次

- ・花と緑の提言 小矢部市の緑花活動について（小矢部支店）・・・・・・・・・・ 2
- ・技術講座 富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン
～ 42 ヒメシュウメイギク～（職藝学院 渡邊美保子）・・・・・・・・・・ 3
- ・緑づくりコーナー 庭木に適した富山ゆかりのサクラ ～ コシノカモザクラ ～（樹木医 西村正史）・ 4
- ・とやまの花壇 ～ 射水市 市井コミュニティー花壇 ～・・・・・・・・・・ 5
- ・ステップアップ研修に参加して（砺波支店 南般若地方銀行 西田光雄）・・・・・・・・・・ 6
- ・この人あり 宇奈月温泉開湯100周年 花いっぱい運動（黒部支店 宇奈月地方銀行 浅田千恵子）・・ 7
- ・報告及びお知らせ 「全国花のまちづくりコンクール」で受賞など・・・・・・・・・・ 7



小矢部市の緑花活動について

花と緑の銀行 小矢部支店長
小矢部市長 **桜井 森 夫**

寒く冷たい時期となりましたが、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また日頃より、小矢部市の花と緑の推進に多大なるご支援とご協力をいただいておりますことに、心より感謝を申し上げます。

小矢部支店では、皆様方のご支援を頂きながら、現在、市内全地区に地方銀行頭取14名、グリーンキーパー257名の方が指導者としてご活躍いただいております。その数も年々増加し、緑花活動の輪がますます広がり、それぞれの地域の特性を生かした自主的な緑花活動が行われています。

当初の活動は、配布された花苗を公共施設の花壇へ植えるだけのものでしたが、今では各地方銀行で花苗を育成し地元の施設や花壇に配布する活動も行われるようになり、市内いたるところで花を見られるようになりました。

小矢部市では、令和3年度には松沢地方銀行が、公益財団法人花と緑の銀行が主催する第49回「富山県花のまちづくりコンクール」においてプレミアム花壇部門と一般花壇の部門で優秀な成績を収められました。その中でもクロスランドおやべ周辺に整備されている花壇(写真1)では、歩いて観光される方が多いことから、道沿いに花壇を設置し、多くの観光客が楽しめるように整備されています。また、松沢地方銀行では、自然豊かな景観を損なわないように、自然と花壇の共存を考え、色彩などにこだわった花壇作りをし、観光に来た人たちの楽しい思い出に残る空間を提供しようと花壇整備をいただいています。松沢地区一帯を花で彩る地域作りを進めています。



写真1 野ぎくの会の花壇

他の地方銀行でも、毎年アイデアを出し合いデザイン性に富んだ花壇が造られており、第32回(2022年)「全国花のまちづくりコンクール」で北蟹谷地方銀行が一般花壇の部門で優良賞をいただくなど、優秀な成績を収めるまでになりました。この花と緑の豊かさが笑顔に繋がるのだと思います。

花と緑の銀行小矢部支店は、花と緑の地域づくりを目的に寄附金をいただいております、その寄附金を活用してプランターカバー(写真2、3)を、希望する地方銀行や緑花活動団体へ贈りました。



写真2、3 プランターカバー

今後とも、多くの花の活動を通して、美しく豊かな自然に恵まれた小矢部市が、さらに花と緑に囲まれ、潤いと安らぎに満ちた地域となるよう、花と緑の銀行の活動推進に積極的に取り組んでまいりたいと存じます。皆様方の一層のご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン ～ 42 ヒメシュウメイギク ～

職藝学院

教授 渡 邊 美保子

シュウメイギクは、中国原産のキンポウゲ科の宿根草です。草丈は100cmほどで、白や桃色の一重や八重の花が咲き秋を彩ります。様々な品種がありますが、草丈が50cm前後の矮性のものは、ヒメシュウメイギクと呼ばれ、花壇の手前に植栽すると夏から秋まで楽しむことができます(写真1)。



写真1 手前はシュウメイギクの矮性品種ダイアナ。10月初旬。花のように見えるのは桃色と濃い桃色の萼片。後ろは、銅葉のフジバカマの仲間(ユーパトリウム品種チョコレート)。

ヒメシュウメイギクは、地中から出ている根出葉を持ちます。ブドウの葉によく似た3つに分かれた葉が地面からたくさん突き抜けているような姿になります。4月から7月にかけて気温の上昇とともに、葉も大きくなり地面を覆ってゆくので雑草の侵入を抑えることができます。

7月中旬になると、重なり合った葉の下では丸い蕾をつけた茎が待っていて、ある日突然ひょっこりと葉の上に顔を出します。次から次と葉と葉の間から蕾をつけた茎が伸びて葉の高さをどんどん越えてゆきます。茎が40cm位になった頃、紅紫色に染まった蕾が割れて黄色の雄しべと桃色の花びらが見え始めます。(写真2)。実は花びらのように見えているのは、萼片(がくへん)と呼ばれるもので細かい毛におおわれています。外側の紅紫色の萼片2枚が開くと、その内側に3枚の桃色の萼片を包み込んでいたのがわかります(写真3)。3日後には雄しべをかき

わけるように丸い雌しべが現れます(写真4)。その翌日には萼片が一枚ずつぱらぱらと落ちてゆきます。花茎の先端の萼片が落ちて、その下には向かい合う紅紫色の茎が両腕を広げるように伸びていてその先端の蕾がふくらんでゆきます。お盆の頃から咲き出して10月初旬まで、のんびりと開花し続けます。茎や葉が枯れ始めるのは11月頃ですが、枯れた茎を切るのを我慢できれば、果実が綿毛のように変化する姿を見ることができます(写真5)。

ヒメシュウメイギクは、明るい半日陰から日向を好みます。午前中だけ陽が差すような場所がお気に入りです。葉に光が当たることによって花付きが良くなります。根元は乾きを好みませんので、腐葉土などでマルチングを行うか、タイム・ロンギカウリスやゲンペイコギクなどを周りに植えて地面を覆って乾燥しないようにすると良いでしょう。



写真2 2枚の萼片が割れて中から3枚の桃色の萼片が現れる。すでに雄しべが見える。開花当日。



写真3 紅紫色の萼片と桃色の萼片が交互に並ぶ。開花当日中には萼片が開き雄しべが現れる。



写真4 萼片が開いてから3日後には、中央に丸い雌しべが見えてくる。外側の紅紫色の萼片の色が薄くなり桃色に変化する。



写真5 11月中旬になると茎と果実が枯れて黒くなる。しばらくすると果実は綿毛のように変化する。

庭木に適した富山ゆかりのサクラ ～ コシノカモザクラ ～

(一社)日本樹木医会富山県支部

樹木医 西村正史

庭木に適したサクラについては、本誌181号ではマメザクラとキンキマメザクラを、206号では富山ゆかりのサクラであるコシノフユザクラとコシノフクカサネを、215号では206号に引き続いて富山ゆかりのサクラであるフタカミザクラを、それぞれ紹介しました。

その後、富山ゆかりのサクラである新たな栽培品種が次々と発見されました。その中で、成長しても低木の特徴を保っているコシノカモザクラを紹介します。

1 発見の経緯

このサクラの原木は、高岡古城公園の小竹藪広場の西側にあります。高さは3.5m程度ですが、樹齢は30年以上と推定されています(写真1)。3月中旬頃に開花するため、その頃になるとキンキマメザクラが開花したと毎年新聞やテレビなどで報道され、県内では知名度の高いサクラとして知られていました。

富山県中央植物園の大原隆明氏はこのサクラの花の色が濃いことなどからキンキマメザクラとの報道に疑問を持たれ、詳細な調査を実施されました。その結果、カンヒザクラなどが関係した新たな栽培品種であることを明らかにされ、2018年に日本櫻学会の学会誌に公表されました。学名は、北陸地方の古称、「越の国」と富山県内における桜の保存等に尽力された加茂善治氏と加茂正三氏に由来し、*Prunus* 'Koshi-no-Kamo-zakura' と命名されました。

高岡古城公園にあるこのサクラは接ぎ木で増殖され、県内では高岡市や砺波市などに、県外では茨城

県(日本花の会結城農場)に植栽されています。富山県中央植物園にも植栽されています(写真2、3)。

2 特徴

このサクラは3つの特徴を持っています。

- ・ 3月中旬頃に開花する早咲きであること。
- ・ 写真1と3に示すように花の色が濃く華やかであること。
- ・ 写真1と2に示すように樹がコンパクトにまとまること。



写真2 富山県中央植物園のコシノカモザクラ
(2019年3月26日に撮影)



写真1 高岡古城公園のコシノカモザクラ
(2022年4月3日に撮影)

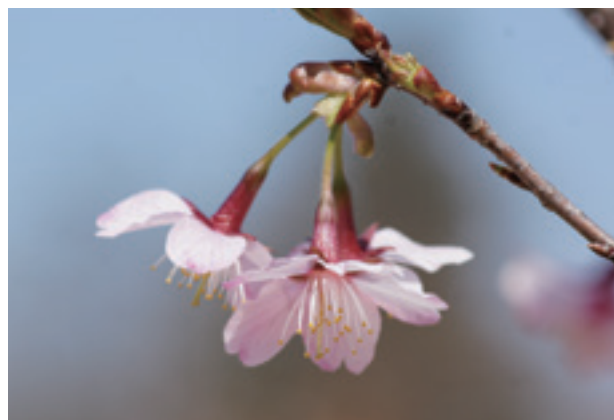


写真3 富山県中央植物園のコシノカモザクラの花
(2018年3月27日撮影)

とやまの花壇 ～ 射水市 市井コミュニティ花壇 ～

富山の各地域で、皆さんが丹精込めてお世話されている素晴らしい花壇をご紹介します。花とみどりの癒しのスポットを、是非、探訪ください。



写真1 市井コミュニティ花壇 (2022.7.29)

旧大門町の和田川右岸に広がる市井（いちのい）地区の中心、公民館広場に自治会の環境部がお世話されている「市井コミュニティ花壇」があります。

20年以上にわたり、「花の会 女性部」が中心となりお世話されていましたが、H28年にふれあい公園風に改修し、地域のいこいの場として自治会の環境部が中心となり、地域の頭取・グリーンキーパーさんらとともに、すばらしい花壇を作り上げておられます。

当地には農業構造改善事業記念碑（S45年以前の大河川分水改修など）、竹内源造作の「玉竜の碑」もあり、地域のメモリアル広場ともなっています。

1 取組みと工夫

普段の作業は、自治会の一斉作業日や毎週行っている公民館での「きららか射水100歳体操」の後に、参加者が頭取・グリーンキーパーの指導の下、取り組んでいます。

春には表土を天地返し、牛ふん堆肥（牛ふんに剪定枝葉や落



写真2 玉竜の碑 など

葉、もみ殻を混ぜ、3年間畑で寝かせた自家産の熟成品）を施用し、花苗定植後にはバーク堆肥をマルチとして敷き、病気にも強い土づくりを目指しています。造成後5年となり、土中にミミズの姿が目立つようになってきましたが、そのせいかモグラの被害も目立つようになりました。

毎年、5色のカンナを配置し、デザインを工夫しています。今年も、テーブルとイスを囲むように背の高い真っ赤なカンナや紅色・黄色のハゲイトウなどを配置し、夏の暑さに負けないトロピカルな風情となりました。また、花壇の境界にある排水路には竹枝を並べ、花が竹をつたい、花壇に広がりをもたせています。

切り戻しによるコントロール、適切な株間、高性植物の支柱など、きめ細かな栽培技術により、田園地帯に鮮やかなガーデンが誕生しました。

広場にブランコ、滑り台などの遊具やベンチを設置し、子供たちやお年寄りのいこいの場となっています。

2 花壇づくりへの思い

高齢化、企業の再雇用の延長などにより、参加される方が年々少なくなっています。そんな中でも、地域の花壇として、多くの方に花と触れ合って、花の楽しさを感じてほしい。そのため、回覧板に花の成長写真を毎掲載するなど、情報発信に努めています。

これからも、「安全・安心、そろって参加、きれいな村を意識し、より良い環境づくりに取り組んでいきたい」と、水戸田地方銀行頭取 萩原信夫さんからお話、そして意気込みをお聞きました。



写真3 みんなで花苗の植付け

●花壇の概況

- ・ 規模 市井公民館広場 182㎡
- ・ 見頃 7月～10月
- ・ 所在地 射水市市井59（公民館）



ステップアップ研修に参加して

花と緑の銀行 砺波支店

南般若地方銀行 頭取 西田 光雄

私は、砺波市南般若地区自治振興会館の横に設置されている『かがやき花壇』を拠点に、地域のグリーンキーパーや花壇委員の方々など、総勢34名で花壇の造成維持管理に取り組んでいます。最初にグリーンキーパーになってから3年余りで、花の名前もわからず、花を育てる基礎的知識もないまま、人とのつながりを大切に、それぞれが意欲をもって働けるように、また、過度の負担にならないようにとの思いで、みなさんと一緒に花壇づくりに取り組んできました。

今回、基礎的な研修、実習そして交流を通じて、地域の活動に取り組めたらとの思いから、令和4年度の頭取・グリーンキーパーステップアップ研修に参加しました。

4月の開講、花壇づくりの基礎知識、5月25日の定植、7月20日に花が満開になるように目標を立てて管理し、11月9日の花壇撤去まで12回の花壇実習でしたが、あっという間に時間が過ぎたように感じました。今年は猛暑が続いたり、雨が何日も続いたりしました。水やりをしてくださった普及研修部の担当スタッフのみなさんには大変お世話になりました。

花壇のデザイン、花苗配置（色合い、花の種類）は班内で、それぞれが積極的な提案をなされ、最

終的に「花の祈り“平和”」を班のデザインテーマとして、花壇の畝に花苗を植え付けしました。数年続いているコロナ禍やウクライナ・ロシアの問題等から、平和と癒し、希望に輝く幸福で穏やかな世界を願ったテーマの花壇が多くあったように思います。研修は、地区の花壇づくりとほぼ同時進行だったので、研修で学んだことを即地区の花壇づくりに活かすことができたと思っています。

私の地区の花壇では、ニチニチソウが立ち枯れ、上手く育ちませんでした。花壇の手入れ講習会を開き学習会を持ちました。猛暑、水やり、連作障害、土壌改良、病原菌など、多くの要因が考えられますが、研修で講師の先生からもアドバイスをいただいたので、今後に活かしていきたいと思います。

研修期間を通し、受講者同士で気軽に声を掛け合ったり、それぞれの地区の花壇づくりの近況を話し合ったりして、みなさんの苦勞、工夫をされている状況をお聞きすることができました。

この研修で学んだことを今後の地域での活動にも活かしたいと思います。ありがとうございました。また、講義以外の内容についてお尋ねしたことも多くありましたが、丁寧にご指導いただきました。併せてお礼申し上げます。



4/27 花壇デザイン作成



6/8 花壇実習（マルチング）



7/20 花壇実習（メンテナンス作業）



8/26 現地視察（長野県大町市）



11/16 閉講式（修了証交付）

『令和5年度 頭取・グリーンキーパーステップアップ研修』の受講募集は、2月下旬を予定しています。受講対象は、未受講の頭取・グリーンキーパーさんです。各支店（市町村担当課）までお問合せください。

宇奈月温泉開湯100周年 花いっぱい運動

花と緑の銀行 黒部支店

宇奈月地方銀行 頭取 浅田 千恵子

宇奈月温泉地区は、黒部峡谷の玄関口にあり、1923年（大正12年）に開湯以来たくさんの方々にご来訪いただいている県内随一の温泉郷です。当地区では頭取・グリーンキーパーのほか、商店街、町内会女性部、宇奈月公園を愛する会といった花を愛する有志の方々が観光地の景観にふさわしい緑化を目指し、花壇の管理やプランターの設置など、自主的に活動しています。自営業者が多い地区ですので、それぞれが忙しい中ですが、宿根草を活用するなどして、手がかからないように工夫をしながら日々の管理に取り組んでいます。

私自身は平成11年からグリーンキーパーとなり、平成24年からは前任者の退任に伴い頭取に就任しました。グリーンキーパー就任当初は花に詳しくありませんでしたが、活動するうちに花を愛でる事がどんどんと楽しくなり、花を通じた友達の輪も広がっていきました。頭取就任から1年後の平成25年4月には、宇奈月温泉開湯90周年「宇奈月温泉花いっぱい運動」を行いました。

地区の皆様や市内のグリーンキーパーの方々にもご協力いただき、90個のプランターを設置し、温泉街を訪れていただいた方々を花でおもてなしするという取り組みです。いつも以上に花にあふれた町並みに、温泉街全体が活気づきました。それから10年が経過し、2023年（令和5年）は開湯100周年を迎えます。これを記念して、今回は100個のプランターを新たに設置し、街を花いっぱいにする予定としています。

花に限らず、宇奈月温泉街に住む人、訪れる方にとにかく喜んでもらいたいという気持ちで23年間活動を続けてきました。原動力は「宇奈月を愛する心」、ポリシーは「無償の愛」です。開湯100周年となる今年は、これから先の100年に向けて更にたくさんのお客様に来ていただくための礎となる1年にしたいと思っています。どうぞ皆さま、宇奈月温泉にお越しく下さい。いつも以上に花いっぱいでおもてなしできるよう、地区の皆様と協力してお待ちしております。



写真1 宇奈月温泉開湯90周年
「宇奈月温泉花いっぱい運動」



写真2 ハングングバスケットやプランターなど

報告コーナー

「全国花のまちづくりコンクール」で受賞

- ・第32回（2022年）「全国花のまちづくりコンクール」において、本県から次の皆さんが受賞されました。コロナ禍にもかかわらず応募され、受賞されたことに敬意を表します。引き続き、各地域における花と緑の推進役としてご尽力いただくとともに、来年度のコンクールへの再トライもお待ちしております。【応募総数：694点、受賞数：大賞5点、優秀賞12点、奨励賞9点など、計91点】

賞	受賞者・受賞団体
花のまちづくり 優秀賞	富山市立新庄北小学校&地域団体
奨励賞	高岡市立醍醐公民館 花と緑の推進部会
入 選	前沢カンナロード実行委員会 上堀駅を愛する会 北部花緑愛好会
努力賞	花と緑の銀行 上市支店



富山市立新庄北小学校&地域団体（富山市）

「富山県花と緑の祭典2022 第50回花と緑の大会」を開催

「第50回花と緑の大会」を、10月19日(水)に富山県民会館において開催しました。参加者を例年の半数程度とするなど、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながらの開催となりました。

- ・大会では、花と緑の功労者表彰(知事表彰2個人3団体、理事長表彰29個人6団体)、県花と緑のコンクール入賞者表彰(9個人25団体)が行われました。また、コンクール上位入賞作品・花壇写真も展示されました。
- ・花と緑の講演会では、兵庫県立大学大学院の平田富士男教授から、「儲かる花と緑のまちづくり」-これからの「花と緑のまちづくり」は何を目指すべきか-と題して講演いただきました。



お知らせコーナー (1月～3月の主なイベント)

花とみどり・ふれあいフェア

- 1 日時 令和5年2月18日(土)10:30～17:00 2月19日(日)10:00～16:00
- 2 場所 フューチャーシティ ファボーレ (富山市婦中町下轡田165-1)
- 3 主な内容
 - (1) 花と緑の展示コーナー
コンテナガーデン、わたしの寄せ植え、花と緑のコンクール入賞作品展 など
 - (2) 花と緑の体験コーナー
花束づくり、寄せ植え、お気軽体験 など
 - (3) その他
花の種無料貸し出しコーナー など

富山県中央植物園

- 第10回クリスマスローズ展 2月24日(金)～26日(日)
 - ◆栽培講習会 25日(土)・26日(日) 14:00～15:30
- 第51回富山県蘭まつり大会 3月3日(金)～5日(日)
 - ◆栽培講習会 4日(土)・5日(日) 10:30～12:00、14:00～15:30
- 第19回雪割草富山県大会 3月10日(金)～12日(日)
 - ◆栽培講習会 11日(土)・12日(日) 14:00～15:30
- 特別展Ⅱ「桐野秋豊ツバキコレクション展 -八尾が生んだツバキ研究家」 3月17日(金)～29日(水)
- 企画展「牧野富太郎にちなんだサクラ(仮)」 3月24日(金)～
 - ※講習会の参加は無料ですが、別途入園料が必要です。
 - (詳細はHPをご覧ください。お問い合わせは富山県中央植物園へ)

県民公園 頼成の森

- 竹スキーづくり教室 1月29日(日) 9:30～12:00 定員:15名 参加費:500円
- 守り人と歩く頼成の森 2月5日(日) 9:30～13:00 定員:15名 参加費:400円
＜冬の森の中を探検しよう＞
(詳細はHPをご覧ください。お申し込み・お問い合わせは県民公園 頼成の森へ)

※ お願い!!

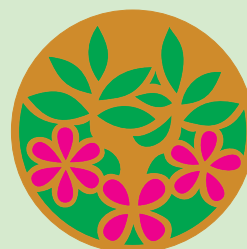
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各行事の中止や内容の変更を行う場合があります。ご理解の上、各行事の詳細はその都度、担当部署へお問い合わせ下さい。
- 「3密回避やマスク着用、手洗い・消毒」に努め、新型コロナウイルスを乗り越えましょう!



編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923
<https://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
TEL 076-466-4187 FAX 076-465-5923
<https://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森
〒939-1431 砺波市頼成156
TEL 0763-37-1540 FAX 0763-37-1450
<https://www.bgtym.org/ranjyounomori/>



花と緑の銀行だより 226号

発行日 令和5年(2023年)1月
再生紙を使用しています。